

資金分配団体 審査会議 議事概要

新型コロナ及び原油価格・物価高騰対応支援枠〈随時募集〉第3次

1. **日時**：2022 年 11 月 30 日（水） 開会 13：00－閉会 15：00
2. **場所**：東京都千代田区内幸町 2 丁目 2 番 3 号日比谷国際ビル 314
JANPIA 事務所内 大会議室、Zoom

3. 審査委員（敬称略）

- ・ 深尾昌峰（龍谷大学政策学部教授）[議長]
- ・ 菅野拓（大阪市立大学大学院文学研究科准教授）
- ・ 町井則雄（株式会社シンカ 代表取締役社長）
- ・ 米田佐知子（子どもの未来サポートオフィス代表）
- ・ 高原康次（グロービス大学院 講師）
- ・ 山内亮太（株式会社 ESCCA 代表取締役）
- ・ 永沢映（NPO 法人コミュニティビジネスサポートセンター代表理事）
- ・ 山内明子（生活協同組合コープみらい常務理事）
- ・ 功能聡子（ARUN 合同会社代表）・ 審査事務局：JANPIA

4. 議題

2022 年度新型コロナ及び原油価格・物価高騰対応支援枠〈随時募集〉第3次の審査

5. 申請の状況

6 事業

6. 議事的前提

- ・ 審査会議では、公募要領に定める「選定基準」とともに、「選定配慮事項・優先選定」に留意し審査を行った。
- ・ 審査委員は審査会議に先立ち、事務局から送付された「申請書類」に基づいて手元審査を行い、審査の過程で生じた疑問については、審査委員にて分担し、各選定申請団体のヒアリングを行った。
- ・ 審査委員は手元審査・面談結果を受け、その結果を事業ごとにコメントとして整理し、審査会議に臨んだ。

7. 議事要旨

審査委員 9 名の出席により、深尾昌峰審査委員が議長を務め、審査を行った。議事に

においては、各審査委員が事前に実施した手元審査の結果を踏まえたコメントを相互に確認しながら検討し、「JANPIA 理事会に対して、選定を推薦する事業」の選定を行った。なお、審査委員へ選定申請団体名について事前に共有し、利益相反についての自己申告があった事業については、当該団体の審査には加わらなかった。

〈利益相反自己申告の状況〉

・ 高原康次

—特定非営利活動法人シングルマザーズシスターフッドのコンソーシアム構成団体である READYFOR 株式会社

審査

(1) JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の 3 事業

以下の事業については、審査委員全員から推薦すべきとの意見があり、推薦することとした。

- 公益社団法人ユニバーサル志縁センター
- 公益財団法人日本国際交流センター

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの指摘事項があり、改善に向けた期待事項を付す等により、推薦することとした。

- 特定非営利活動法人 ACOBA
 - ・ 地域に根ざす取り組みのモデルケースとしてネットワークを活かした事業展開がされることを望む。

(2) 推薦を保留とする事業：以下の 2 事業

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの懸念事項が示された。そこで、当該団体へ JANPIA 事務局にてさらにヒアリングを実施し、その結果を審査委員に報告すること、その後、再度審査委員にて推薦について協議することとした。

- 特定非営利活動法人困窮者支援ネットワーク
 - ・ 地域における多様な支援機関との連携が提案されていないこと、助成実績と経験がない点などから不安要素があり、その点を団体に確認し、意見交換を行う。
- 特定非営利活動法人シングルマザーズシスターフッド
 - ・ 地域のつながりやコミュニティ再生という課題設定と、体験活動という解決

策の関連性の説明が十分ではない。

(3) 推薦を見送ることとなった事業：以下の1事業

申請のあった事業について、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

■ 一般社団法人 SINKa

以上